

発言通告表（一般質問）

令和5年9月定例会

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
1	遠藤 盛正（22）	<p>1. 市道富士駅南口田子浦線の整備事業の早期完成について</p> <p>市道富士駅南口田子浦線は、富士駅南地区の南北の主要道路であり、小中学校や幼稚園などに通う児童に加え、JR富士駅に向かう歩行者や自転車も多く利用する道路であります。しかし、この道路には歩道がないため、特に通勤、通学時などの交通量が多い時間帯には歩行者、自転車、自動車が輻輳し、大変危険な状況となっております。</p> <p>富士市では、平成20年代から整備事業を進めており、現在、道路にかかる家屋などの多くは移転し、計画道路部が目に見えるように空き地の状態となっております。このため、予算を確実に確保し、一刻も早く本格的な工事に着手していただき、一年でも早く全線完成することにより、市民が安心して通行できる道路にさせていただきたいと思っております。そこで、現在の進捗状況と全線完成はいつになるのかお伺いします。</p> <p>2. 高齢者施設・障害者施設向け、感染症対策ガイドブック作成について</p> <p>3年以上に及ぶ新型コロナウイルス感染症への対応は、令和5年5月8日、感染症法上の位置づけが5類へ変更されたことで、1つの節目を迎えました。今後、新型コロナウイルスは、施設運営における感染症対策として、インフルエンザ等の他の感染症と合わせて取り組むこととなります。このため、重症化リスクのある方が生活する高齢者施設・障害者施設では、集団感染の防止を図る上で、これまで以上に、平時からの感染症対策が重要になると思います。</p> <p>高齢者施設・障害者施設において、感染者がいない平時から実践する感染症対策を分かりやすく解説し、さらには感染者が発生した際、症状に応じて必要な追加対策など、施設を運営する上で重要となる情報共有や職員のメンタルケアについても示したものを用意しておく必要があると思っております。</p> <p>9月1日には、富士市内の各地区で防災訓練が行われました。「平時にできないことは、災害時にもできない」と言われているように、これは、危機管理対応として、感染症対策でも全く同じだと思います。高齢者施設・障害者施設の職員が、これまで培ってきた新型コロナウイルス感染症対策を生かしつつ、施設の感染症対応力のさらなる向上を図るために、情報共有のできるガイドブックの作成が必要と思っております。そこで、以下伺います。</p> <p>(1) このコロナ禍の3年間における富士市の感染者数、死者数、感染経路などを取りまとめて検証しているか。</p> <p>(2) 平時からの実践が、感染症発生時の感染拡大を防ぐと考えますが、富士市として、高齢者施設・障害者施設で情報共有できるガイドブック作成の考えはあるか。</p>	市長 及び 担当部長